

自己点検・評価表

実施日:2025年3月14日

学校名:アイ エステティック専門学校

1. 学校の教育目標

【教育理念】

ホスピタリティ豊かな、世界に通用する技術をもった人材の育成

【教育方針】

①美容関連の接客サービス業にふさわしいホスピタリティマインドを持った人材の育成

②美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成

【教育システム】

「教室は仕事場である」という考えのもと2年間で4つのステップに分け段階的に教育方針に沿った人材育成をしています。

1年前期→ 言われたことができる人になる

1年後期→ 言われなくてもできる人になる

2年前期→ 人から真似される人になる

2年後期→ 社会に必要とされる人となる

【指導目標】

社会が期待する学生像を指導の目標として6項目を特に習得させる指導をしています。

礼儀…いつでも、どこでも挨拶がいき正しい敬語で話せる学生

コミュニケーション能力…笑顔で積極的にコミュニケーションをとり、相互理解のできる学生

協調性…周囲の空気を読み、チームワークを大切にする学生

自己管理…時間や体調の管理ができる学生

自立…自分で考え行動できる学生

向上心…目標を持ち、その目標に向かって努力できる学生

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

企業との連携を強化し、求められる人物像に合わせたカリキュラムや行事の見直し
教職員の学生指導力向上、メンタルヘルスケアに関する勉強会の実施
学生数に応じた授業運営やクラス運営、空き教室の有効利用など、無駄を省いた運営

3. 評価項目の達成及び取組状況

1. <教育理念・目標>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
1	1	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか	④	3	2	1	学則・入学案内書
1	2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	④	3	2	1	学則・入学案内書
1	3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1	学則・入学案内書・保護者宛配布資料(学務だより)

①課題

学校の教育方針、育成人材像について、保護者への周知は入学前の学校説明会の中で保護者説明会として説明の場を設けており、更に入学後に保護者説明会を開催し共有を図っている。

理念や教育方針の理解を深め、保護者との協力体制を確立する為、希望者には個別保護者面談を実施。定期的な情報発信などが課題である。

②今後の改善方策

定期的な情報発信を検討する。

③特記事項

特にありません。

2. <学校運営>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
2	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1	重点方針
2	2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1	重点方針、予算書
2	3	学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	④	3	2	1	自己点検・評価報告書、決算関連資料
2	4	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか	④	3	2	1	就業規則・人事考課表
2	5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1	危機管理プロジェクト
2	6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1	情報公開資料(HP掲載)

①課題

個人情報の取り扱いにはついては、個人情報保護規定により適切な対応を行っている。学校ホームページやSNSサイトに掲載する写真等の個人情報について学生説明を行っているが、可視化する必要がある。

②今後の改善方策

写真掲載について、入学時および卒業時の同意書提出の検討をする。

③特記事項

特になし

3. <教育活動>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
3	1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1	重点方針・シラバス・教育課程編成委員会議事録
3	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1	シラバス・ライフマニュアル
3	3	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1	シラバス・ライフマニュアル・教育課程編成委員会議事録
3	4	講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	④	3	2	1	シラバス
3	5	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	④	3	2	1	授業改善アンケート
3	6	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか	④	3	2	1	授業改善アンケート
3	7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1	教育課程編成委員会議事録
3	8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	ライフマニュアル・シラバス・卒業進級審議判定会議事録
3	9	人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1	授業スケジュール(講師毎)、研修関連資料
3	10	各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか	④	3	2	1	業界団体加盟リスト、教育課程編成委員会議事録
3	11	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1	研修関連資料
3	12	カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか	4	③	2	1	シラバス、ライフマニュアル

3	13	講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	4	③	2	1	カリキュラム表、WEBシラバス、カリキュラム対照表
3	14	実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	④	3	2	1	カリキュラム表、WEBシラバス、カリキュラム対照表
3	15	講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	④	3	2	1	入学試験面接記録、個人面談記録
3	16	企業実習（インターンシップ）を推奨し、希望者が企業実習（インターンシップ）を実施できる体制を整えているか	4	③	2	1	
3	17	学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか	④	3	2	1	文書管理規定・学生情報システム(Nacs)権限設定

①課題

感性や創造性を育成する場やホスピタリティ精神を育む学内外の行事や業界体験を行うことができた。業界企業や業務内容の理解を深めるため、全専攻を対象にした企業連携や早期インターンシップ制度の確立が必要である。

②今後の改善方策

美容業界に必要な豊かな心情や感性を育てる為、美術、音楽、演劇などに触れる機会を作り、外部イベントについて積極的に参加をする。企業インターンシップ制度を確立するためにカリキュラムの見直しや企業連携を進めていく。

③特記事項

特になし。

4. <学修成果>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
4	1	就職率の向上が図られているか	4	③	2	1	学校基本調査・内定関連資料
4	2	資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1	試験結果一覧
4	3	入学者に対する卒業率はどうか	4	③	2	1	年度末在籍集計表
4	4	在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか	4	③	2	1	SAM活動、ライフマニュアル
4	5	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	④	3	2	1	成績証明書、WEBシラバス
4	6	教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか	4	③	2	1	委託協定書
4	7	企業実習（インターンシップ）について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか	4	③	2	1	

①課題

専攻確定後(後期)より就職活動が始動する為、夏期企業実習の(インターンシップ)の参加ができていない。専攻確定前の夏期インターンシップからの参加を促し「業界就職率」の向上を図ることが課題である。

②今後の改善方策

業界企業や分野の知識を深め、企業連携やインターンシップ制度の確立を進めていく。

③特記事項

特になし

5. <学生支援>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか	4	③	2	1	就職活動ガイドブック、保護者説明会資料
5	2	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1	健康診断記録、専任カウンセラー
5	3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1	奨学金制度案内、各種制度
5	4	学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1	担任制度、専任カウンセラー
5	5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	SAM活動規約
5	6	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	④	3	2	1	提携寮紹介・ひとり暮らし応援制度
5	7	保護者との連携は適切か	4	③	2	1	保護者宛配布資料(学務だより)、保護者面談記録
5	8	卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1	入学案内書、同窓会案内
5	9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1	教育訓練講座
5	10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1	高校連携事業内容

①課題

欠席、遅刻が目立つ学生に対しては保護者への電話連絡を行い協力体制の構築を図っている。生涯就職サポートなどの支援体制は整っているが、卒業後の把握が不十分であったため、次年度より入社後半年後フォローの支援体制を予定している。

②今後の改善方策

入学直後より個別面談を行い、学校生活に適應できない学生への早期サポートやカウンセラーの早期紹介を行う。

③特記事項

次年度入学時より担任・副担任の2名体制で、きめ細やかなクラス運営を行う。

6. <教育環境>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1	施設・設備リスト、時間割表
6	2	防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1	災害マニュアル、備蓄品リスト
6	3	実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか	④	3	2	1	器具・設備リスト
6	4	美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか	④	3	2	1	時間割表・設備リスト
6	5	自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか	④	3	2	1	校内配置図
6	6	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	④	3	2	1	備品リスト、管理点検関連資料
6	7	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	④	3	2	1	時間割表、設備予約システム
6	8	国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか	4	3	②	1	教育提携プログラム一覧表

①課題

業界企業と連携した実践的な教育プログラムを検討する。また、GIGAスクール構想実現に向けた環境整備を行う。

②今後の改善方策

2025年度全学生のタブレット授業導入にむけ、インターネット環境の整備・充実を目指し、ITC教育を活用した授業を構築していく。

③特記事項

2024年度入学生よりタブレット端末を活用した授業運営を開始した。

7. <学生の受入れ募集>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1	入学案内書、募集要項、入学時 関連ツール
7	2	学納金は妥当か	④	3	2	1	募集要項、決算報告書
7	3	障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか	4	③	2	1	学生情報システム(Nacs)

①課題

募集の定員充足率の改善を行い安定した学生募集を行うことが課題である。

②今後の改善方策

高等教育修学支援新制度の対象校であることを広く理解してもらえよう、オープンキャンパス等での説明、対応を強化する。

③特記事項

特になし

8. <財務>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
8	1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1	財務関連資料
8	2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1	予算関連資料
8	3	財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1	会計監査関連資料
8	4	財務情報の公開の体制整備はできているか	④	3	2	1	情報公開(HP)

①課題

特になし

②今後の改善方策

特になし

③特記事項

特になし

9. <教育の内部質保証システム(法令等の遵守)>			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
9	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1	文書管理規定
9	2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1	個人情報保護規定
9	3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1	自己点検・評価表
9	4	自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1	情報公開(HP)
9	5	教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか	④	3	2	1	人事考課表、業務分掌
9	6	評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか	④	3	2	1	人事考課表、人事規定
9	7	教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか	④	3	2	1	人事考課表、人事規定

①課題

特になし

②今後の改善方策

特になし

③特記事項

特になし

10. ＜社会貢献・地域貢献＞			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1	SAM活動、キッズハッピープロジェクト、福祉施設訪問記録、サロン運営

①課題

地域貢献を兼ねた実習授業のカリキュラム強化が必要。

②今後の改善方策

社会・地域貢献・学生ボランティア活動の取り組みについて、定期的な活動を確立していく。

③特記事項

特になし

11. ＜国際交流(必要に応じて)＞			適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				エビデンス (文書名又は文書番号)
11	1	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか	4	3	②	1	
11	2	学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	②	1	

①課題

11-1 卒業後の就職面を考えると現在も就労ビザ取得に課題があるため、募集活動は行っていない。

②今後の改善方策

特になし

③特記事項

11<国際交流>については、留学生の入学実績がないため、それぞれの項目を②評価。